

事業概要【遊びと学びを包摂した魅力探求プロジェクト】

申請者	宮崎県木城町				初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	11,847千円 (5,489千円)	
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 (大項目)	強い経済 観光振興(DMO)等の観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 町のイメージ戦略と観光関連施設・文化施設の利活用方針を連携させることで、町の魅力を総合的に発信し、相乗効果を生み出す。木城町にある自然、コミュニティ、文化、歴史等の地域資源を最大限に活用し、町のブランドイメージを向上させ、関係人口・交流人口・観光消費額の増加や交流を重視した事業により町民の満足度・幸福度向上に繋げ、より魅力的な町を創出する。 イメージ戦略と観光関連施設・文化施設の利活用方針の構築に伴う市場調査の段階から、町民参加型のワークショップの実施や地域の団体と連携することで、地域に住む人も地域内の魅力を再確認する機会とし、シビックプライドの醸成や交流事業への地域住民や団体の参画につなげ、地域活性化を図る。 						
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR8年度事業費</small>	【事業概要】 市場調査（実態調査、意識調査、モニター調査等）に基づき、町のイメージ戦略と観光関連施設・文化施設の利活用方針を構築する。これにより、地域の特性を活かした観光プラン等の創出やウェブを中心としたプロモーション（キャッチフレーズ、ロゴ、ウェブサイト更新等）を展開する。 住民参画、観光、空き施設の利活用に関する専門家を招聘し、専門的な知見による意見提示と課題解決へ向けた議論にアドバイザーとして参画してもらうことで、持続可能な観光振興・交流事業の推進に取り組む。						
【ソフト事業経費】 市場調査（実態調査、意識調査、モニター調査）を実施し、イメージ戦略・施設の利活用方針を構築し、高付加価値化した観光プランの創出・実施やプロモーションを展開する。 市場調査から観光振興・交流事業の展開まで一貫して参画できるアドバイザー（外部専門家）を招聘し、地域の特性に沿った事業展開を促進する。 ・アドバイザー（外部専門家）派遣 2,178千円 ・観光マーケティング・企画運営支援 3,311千円							
主なKPI <small>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</small>	★①観光消費額（+36,092千円） ②木城町お出かけガイドの年間総AU数（+0.25万AU） ③体験型観光ツアー・イベントの参加者数（+170人） ④町全体の観光客数（+20,000人）				URL <small>※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</small>	https://www.town.kijo.lg.jp/sosikikarasaga/su/tiikiseisakuka/tiikiseisaku_seisaku_keikaku/293.html	